



人を
喜ばせる
人になる

盈科小学校学校便りNo.18

令和3年10月8日
文責 校長 中上一義

たくさんの応援と後押しをありがとうございました！

9月26日（日）に行いました運動会には、早朝よりご来校いただきまして、ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策のため、昨年度同様の半日開催をはじめとして、多くの面で以前とは違う形での開催となりましたが、開会の挨拶で、お伝えした通り、子どもたちは、自分たちの頑張る姿で、見に来てくださった皆様に喜んでいただこうと頑張りました。

十分頑張っていた	: 94%
よく頑張っていた	: 6%
頑張っていた	: 0%
もう少し頑張してほしい	: 0%

運動会後に、保護者の皆様をお願いしたアンケートの結果は、左表のようになりました。

このことから、今回の運動会のヨロコビ指数は、**98.2%**となり、子どもたちは、頑張って目標を達成できたと判断しています。

またご回答いただいたアンケートの記述欄には、運動会の競技や表現の内容はもちろん

ですが、子どもたちの笑顔や表情、一生懸命さや元気のよさ、係等でのキビキビした動き等に関しても、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。これらの言葉は、子どもたちにとって何よりの嬉しいメッセージになりました。

今回の運動会を振り返って、既に、子どもたちには、次のようなことを指導しています。

- ①見に来てくださった方々に喜んでもらえた、みんなの頑張りは素晴らしかったこと
- ②人を喜ばせることは、自分だけでなく、周りの人にも元気や喜びや温かさを贈ることになる。これも素晴らしいことであり、次の学習発表会でも、同じように頑張ろうということ
- ③運動会当日、みんなの頑張りを後押ししてくださったり、準備や片付け等にも、たくさん協力してくださったりした保護者の皆様へのありがとうの気持ちを忘れないようにしようということ

もう一つ、保護者の皆様に、ぜひ伝えたいことがあります。

私は、開会挨拶の中で、来校された皆様に、「運動会を見に来た人ではなく、子どもたちの頑張りを後押しする人になっていただきたい。」とお願いをしました。

そうして始まった運動会では、最後まで、子どもたちの頑張りに、たくさんの拍手をいただきました。その拍手の音を聞きながら、お願いした以上の、子どもたちを後押ししようとされる保護者の皆様の気持ちと力を感じ、あらためて感謝の気持ちでいっぱいになりました。

子どもたちの頑張りを引き出したのは、もちろん子どもたち自身の気持ちもありますが、まさに保護者の皆様の力でもあったのです。

保護者の皆様、本当にありがとうございました。



20

に先生から、お話を聞きました。そして、その話をみんなの前で発表しました。

子どもたちが、よく頑張りました。